

[通常機体]カ F 「機動戦士ガンダム F91」

ガンダム F91

機体名	ガンダム F91	画像
型式番号	F91	
英語名	GUNDAM FORMULA-91	
所属	地球連邦軍	
パイロット	シーブック・アノーベルフ・スクレット	
装甲材質	ガンダリウム合金セラミック複合材	
装備	バルカン砲×2 ビームサーベル×2 メガマシン キャノン×2 ヴェスパー×2 ビームライフル× 1 ビームシールド×1(1)	
作品名	機動戦士ガンダム F91	
参考書籍	G ジェネレーション F メディアワークス刊デー タコレクションシリーズ 8 機動戦士ガンダム F91 メディアワークス刊 MS 大全集 2003	

内容

G ジェネ F

連邦軍の汎用試作型 MS。

F90 シリーズをベースに「現時点での MS の限界性能の達成」を目指して開発された機体。

サナリィの MS 小型化計画の集大成となる MS である。

高出力ジェネレーターを搭載している為、ヴェスパーやビームシールドといった強力なビーム兵装の装備が可能になっている。

また、装甲内に電子機器を埋め込む「MCA 構造」を採用している為、小型 MS のスケールをはるかに超えた性能を発揮することができる。

さらに操縦補助システムとして「バイオ・コンピュータ」を搭載しており、機体の追従性は極めて高い。

また最大出力で稼動した場合、機体冷却の過程で発生する金属剥離効果 (MEPE) によって残像が発生するため、あたかも分身しているような効果を得ることもできる。

フロンティア I のサナリィ施設で完成した試作機が、クロスボーン・バンガードに対する迎撃に投入された。

また後に少数が量産され、連邦軍宇宙艦隊に配備されたともいう。

備考

あまり知られていないが、第二次オールズモビル戦役でも活躍していたという説がある。

この時はバイオコンピュータが未搭載の状態であったが、ベルフはかなりの戦果を上げ、戦役を終結させたいらしい。

関連機体

- ・ ガンダム F90V ヴェスパータイプ

・量産型 F91

スペック

項目	内容
頭頂高	15.2 m
全高	
本体重量	7.8 t
全備重量	19.9 t
ジェネレーター出力	4250 kw
スラスタ推力	15530 kg × 44380 kg × 6
アポジモーター数	51 (8)
センサー有効半径	不明